

市鍼だより

令和6年3月 第2号



[目次]

ごあいさつ	那須賢士郎	2
第40回鹿児島市民健康まつり総括	中村みゆき	4
健康まつりに参加して	市来原優樹	5
敬老奉仕活動に参加した所感に	田中洋一郎	6
市民健康づくり…総会報告	那須賢士郎	9
技能功労者・青年優秀者…授賞式	那須賢士郎	10
技能功労者授賞式に参加して	児玉 貞雄	11
特別全国障害者スポーツ大会総括	那須賢士郎	12
障害者スポーツ大会に参加した所感	吉田華奈子	12
施術所訪問記[第8回]	牧原 敏治	14

一般社団法人 鹿児島市鍼灸マッサージ師会

ごあいさつ

会 長 那須賢士郎

梅の開花の便りが聞かれる頃となりました。皆様におかれましてはお忙しくお過ごしのことと存じます。平素は当会の事業に対してご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は多くの挑戦と喜びに満ちた一年を過ごすことができました。コロナ感染症の分類が緩和され、様々な行事が開催できたことを嬉しく思います。

6月の生涯学術研修会は、県民交流センターにて、県鍼灸マッサージ師会との共催により開催しました。協力関係により、より充実した研修が提供でき、会員のスキル向上に寄与しました。このような連携は今後も進めていきたいと考えております。

7月には健康まつりが西原商会アリーナで開催されました。例年ですと10月に開催されるのですが10月に鹿児島国体が開催されたため、7月の開催でした。地域の健康促進に寄与するとともに、多くの方々が参加し、有意義な時間を過ごすことができました。地域社会への貢献が感じられる素晴らしいイベントでした。

11月には市技能功労者・青年優秀技能者賞授賞式が川商ホールで行われ、当会からは、児玉貞雄先生が受賞されました。その功績は師会全体の誇りとなり、先生のご尽力に心より敬意を表します。

敬老奉仕は、新型コロナウイルスの影響により施設などでのマッサージを行うのは難しい状況でしたが、初めて町内会での活動を実施し、地域の皆様に直接お会いできました。これからも地域社会への奉仕を大切にし、新たな形で貢献していきます。

10月には鹿児島国体、メインの障害者スポーツのボッチャ、グランドソフトボール、卓球サウンドテーブルテニス、アーチェリーの4つの競技に参加してのボランティア活動がありました。会員の皆様の協力により無事に終了しました。スポーツの祭典を成功させることは、地域への貢献と連帯感を一層高める大きな一

歩となりました。

「はり、きゅう施設利用券」は、3師会団結し連携を取り、現状維持を確保したいと思っています。陳情行動等も場合によっては取りたいと思います。

「はり、きゅう施設利用券」維持に関しては市議会議員で当会の顧問である志摩れい子さんに長年お世話になっておりましたが、今期限りで市議会議員を勇退され、娘さんのいけやま美月さんが後継者として挑戦されることになりました。志摩れい子さんは、これまでに、豊富な経験と熱意をもって、当会に尽力されてきました。娘さんが後継者として議員になることで、新しいエネルギーが注がれることでしょう。当会としては、彼女の活動を全力で応援していきたいと思っています。

来年度の4月の総会におきましては、いままで第2日曜日に開催していましたが、第3日曜日に変更し開催することとなりました。多くの会員の皆様に参加いただくことを期待しております。

この一年を振り返り、皆様のご協力と支援に心から感謝申し上げます。これからも鍼灸マッサージ師会として、地域社会に貢献し、会員の皆様にとって有益な活動を提供してまいります。ご期待に応えるため、今後も一層努力を重ねてまいります。

最後に、今年一年、皆様お一人おひとりのご健康とご活躍を心より祈念致します。

第 40 回鹿児島市民健康まつり報告

事業部 中村 みゆき

令和 5 年 7 月 16 日に鹿児島市医師会主催の第 40 回鹿児島市民健康まつりが西原商会アリーナで開催され、例年同様マッサージ体験コーナーを実施しました。例年は 10 月に開催される市民健康まつりですが、今年は鹿児島国体と重なる関係で 7 月に実施されることとなりました。初夏の暑い日差しの中にも関わらず、鹿児島市内外の先生方にご協力を頂き、施術者 22 名、受付 2 名で午前 9 時から午後 4 時まで活動しました。1 人 10 分程の施術時間で午前 170 名、午後 120 名、合計 290 名の方々に利用して頂き、大盛況のうちに終了いたしました。



また、今年から MEDkids(メドキッズ)子供のお仕事体験という初めての試みも実施され 17 名の子供達にマッサージのお仕事体験をして頂きました。親御さんに肩もみやハンドマッサージを施す姿は、とても可愛らしくマッサージ師という職業に少しでも興味をもってくれたらと感じました。

参加された以下 22 名の先生、受付の方々、誠に有難うございました。

参加者（敬称略・五十音順）

（鹿児島市）市来原優樹、井手佳世、上ノ園高行、大勝孝雄、川畑裕人、竹ノ内幸弘、田中洋一郎、田之上誠弥、那須賢士郎、中村真二、中村みゆき、西川保洋、寶尺陽子、牧原敏治、松元健一、道上大輔、南洋和、吉村栄記

（他地区）有村孝香、有村博信、辻喜美男、林裕一

（受付）上ノ園章子、加治佐由美子



健康まつりに参加して

会員 市来原優樹

コロナウイルス感染症が5類に移行してから2ヶ月が経ち、まだまだ油断はできない社会状況ではあるものの、今年も市民健康まつりがリアル会場で開催されました。今回の開催にご尽力いただいた関係者の皆様をはじめ鹿児島市鍼灸マッサージ師会の会員の先生方には、このような貴重な機会をいただきましたこと感謝申し上げます。

私は初めて健康まつりに参加させていただきましたが、コロナの5類移行もあってか大盛況で、市民の健康に対する需要は一層増しているものと感じました。施術は普段が30分ほどかけて治療を行っているため、15分程度での施術は難しいものを感じ、内容の精度や効率化を考える良い経験となりました。体験される方々の多くが身体の不調を感じるものの、ケアをしようと思っていなかったり、ケアする場所が身近にあることを知らないようでした。外出することが多くなり始めた今だからこそ、あはきの魅力を啓発し、活躍できる場を増やしていけるのではないかと感じました。

今回の健康まつりのようなイベントは、あはきを知らない方に知っていただける貴重な機会です。1人でも多くの市民を救えるように積極的な取り組みが大事だと思いました。



敬老奉仕活動に参加した所感について

会員 田中洋一郎

去る9月10日（日）敬老奉仕活動に参加させていただきました。

2019年の治療院開業時より鍼灸マッサージ師会の会員になりましたが、自身の体調不良やコロナ禍もあって奉仕活動に参加する機会に恵まれませんでした。

本年は奉仕活動が再開されるということだったので、経営する治療院の日曜日の営業時間を調整して参加いたしました。

三療（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう）に従事する私達は、あん摩マッサージ指圧、理学療法、柔道整復、そして法的資格制度がない整体やカイロプラクティック等の手技による施術の違いをはっきり説明できると思います。しかし、一般の方が、その違いについてよく理解されていないと感じることはしばしばあります。



今回施術させていただいた方の中に、ご高齢の女性がいらっしゃいました。この方は、膝の調子が悪いので、普段整形外科にてリハビリを受けているとおっしゃっていました。マッサージを施術した後、“整形外科のリハビリですることと違うね”とお言葉を頂きました。

実際に体感していただければその違いをご理解していただけないことに、歯がゆさがあります。しかしながら、今回の活動を通して市民の皆様へのマッサージに対する認知度を広げることができるのではと、改めて思いました。

また、7月の市民健康まつり・9月の敬老奉仕活動と続けて参

加させていただいたのですが、同業の先生方が普段どういったマッサージをされているのかを自身の施術中に拝見することができたのはよい経験となりました。

私もそうですが、会員の皆様の中には個人事業主として一人で鍼灸マッサージ業に従事されている方もいらっしゃると思います。一人で仕事をしていると、同業の先生方が普段どういった施術をされているか気になることもあります。養成学校ではあん摩マッサージの“型”はだいたい同じものを学んでいます。しかし、いざ臨床に出てみると、“型”はその先生に合ったものに変わっていきます。例えば、手の構えや手を動かすリズムといったものです。今回の奉仕活動は、私よりも臨床歴のある先生方と一緒にできたことで、自分の施術が他の先生方とどう違うのか、どう修正したほうがいいのかを認識できたことは大きな収穫でした。

座学による勉強ももちろん大事であると思います。しかしながら、多くの先生方と同じ場で施術をさせていただくボランティアの場も、他の先生方がどういった施術をしているかを勉強できる場なのだと思います。思いを新たにできました。

最後になりますが、今回の奉仕活動の場を設けていただいた右田先生、鹿児島市鍼灸マッサージ師会の役員の皆様、および錦江町町内会の皆様には改めて感謝を申し上げます。



参加協力者 10 名

大勝 孝雄・川崎 史絵・田中洋一郎・那須賢士郎・中村 真二
中村みゆき・東 直樹・右田 瑞穂・右田 善信・吉村 栄記

市健康づくり推進市民会議総会報告

総務部 那須賢士郎

昨年9月12日火曜日、市教育総合センターにて市健康づくり推進市民会議総会が開催されました。平成25年～令和4年度までの「かごしま市民すこやかプラン」の目標の達成状況などについての報告がありました。

目標達成している指標が 18 指標 (21.7%)、改善している指標が 22 指標 (26.5%) で、2つ合わせて 40 指標 (48.2%) と全体の約 5 割が策定時より改善していました。「たばこ」、「歯・口腔の健康」、「こころの健康」の分野では、改善している指標の割合が高くなりました。

一方、悪化している指標は 28 指標 (33.7%) で、特に「身体の活動・運動」、「休養」、「次世代の健康」の分野において、悪化している指標が多くなりました。

原因として、参加者のライフスタイルの多様性や個々の健康意識の差が挙げられます。一般的なアプローチが全てのメンバーに適しているわけではなく、個別のニーズに応える柔軟性が不足していた可能性があります。

課題を克服するために、今後は参加者のフィードバックを積極的に取り入れ、より個別にアプローチできるよう改善を検討していく予定です。これまでの経験を生かし、より効果的かつ持続可能な健康づくりのために努力を重ねてまいります。

健康づくりの大切さを強く感じました。引き続き皆で協力して、健康な社会を築きたいと思いました。

技能功労者・青年優秀者技能者授賞式

会長 那須賢士郎

令和5年11月17日(金)に川商ホールにて、技能功労者・青年優秀技能者授賞式が行なわれました。

令和5年度の技能功労者は34名、青年優秀技能者は8名の計42名の皆様が受賞されました。当会からは児玉貞雄氏が、受賞されました。会場には受賞者が喜びに満ち溢れ、その感動が私の心にも伝わりました。皆さんの卓越した技能とひたむきな努力によって、業界に貢献された結果だと思えます。

また、受賞者たちの家族や同僚と一緒に喜ばれている姿も印象的でした。彼らのサポートがなければ、ここまで成し遂げることは難しかったでしょう。チームワークや絆の重要性を改めて感じさせられました。

受賞者たちへの授賞式の進行も心温まり、彼らの功績を称える場としての意義を強く感じました。このようなイベントが開催されることで、技能や才能を持つ人々が励まされ、社会全体が活気づくことが期待されます。授賞式を通じて、専門性や情熱がもたらす成果と共に、人としての温かさや協力の大切さを再確認しました。



技能功労者授賞式に参加して

会員 児玉貞雄

本年度の技能功労者にご推薦頂いて心より感謝申し上げます。

りっぱな表彰状、記念の盾を頂きました。増々、努力、研鑽に努めなければと、肝に銘じました。式典中、色々なこれまでのことが走馬灯のように頭をよぎりました。この道に入ったきっかけは母の病気でした。

乳癌で東京女子大病院で手術、日本医科大学病院に当時、丸山ワクチンが癌に効くとのことで、貰いに行きました。ついでにと思ひ、母を1人ベッドに残し、東京築地の国立ガンセンター中央病院に見学に行ってみました。

中央病院緩和ケア科で治療を受けている、末期ガンの患者さんは、ゆったりした音楽と、もぐさの香りが漂う、安らぎに満ちた一室で、幸せそうに治療されていました。

ここで私の人生が変わりました。鍼灸ってすごいなと思いました。国立ガンセンター緩和ケア科では、乳癌手術後に鍼灸治療を受けたグループ、受けなかったグループ間で鎮痛剤を要求した患者の数を比較したりしています。圧倒的に鍼灸治療をした方が効果大です。これからも賞を励みとし、日々精進していきたいと思ひます。役員・会員の皆様、本当にありがとうございました。



特別全国障害者スポーツ大会報告

総務部 那須賢士郎

令和5年10月28日、29日に特別全国障害者スポーツ大会が開催され、卓球、アーチェリー、グランドソフトボール、ボッチャの4競技のスポーツ選手のコンディショニングを実施しました。

卓球(6名) 林裕一、西川保洋、竹ノ内幸弘、吉田華奈子、田之上誠弥、福田真悟、アーチェリー(4名) 森本誠、道上大輔、有村孝香、辻喜美男、グランドソフトボール(3名) 有村博信、村井飛鳥、東直樹 ボッチャ(3名) 清水大樹、北村公貴、那須賢士郎の施術者16名が活動しました。

ボランティアに参加した日は、非常に充実した経験となりました。素晴らしい時間を過ごすことができました

また、マッサージボランティアとしての役割は、アスリートたちの身体のケアをサポートする非常に重要な仕事でした。彼らの筋肉の疲労を和らげ、リラックスさせることが、彼らのパフォーマンス向上に寄与できることを実感しました。彼らからの感謝の言葉を受けるたびに、やりがいを感じました。

最後に、ボランティア仲間たちとの協力も素晴らしかったです。チームとして連携し、アスリートたちに最高のサポートを提供しようとする姿勢が、絆を深める良い機会でした。

私にとって貴重な体験となり、スポーツとボランティア活動の重要性を再認識することができました。将来もこのような活動に参加し、アスリートたちをサポートしたいと思います。

特別全国障害者スポーツ大会に参加した所感について

会員 吉田 華奈子

去る10月28日(土)29日(日)特別全国障害者スポーツ大会に参加させていただきました。

今回、初めてスポーツ選手のコンディショニングに携わらせていただきました。私自身視覚に障害があり、目標に向かって邁進される選手の皆さんの姿に、2日間という短い期間ではありましたが繰り返し勇気をもらいました。また何度もこの場を経験してこられたベテランの先生方や大会関係者の皆さんのお力添えをいただきながら、施術者として大きな一歩を踏み出せたと思います。



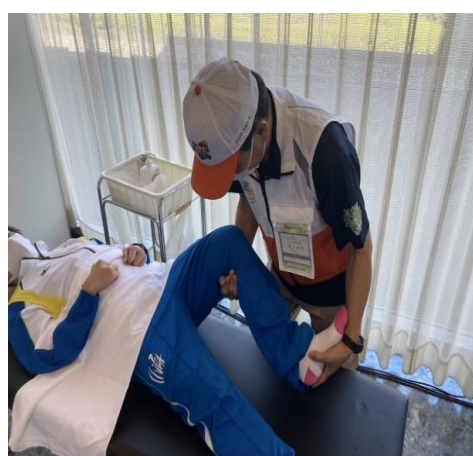
卓球サウンドテーブルテニス



アーチェリー



ボッチャ



グランドソフトボール

[施術所訪問記] (第8回)

はり・きゅう・マッサージ 有村治療院

取材：牧原敏治

◎ [施術所訪問記] は、通常鹿児島市内の会員の皆様の治療院を取材させて頂いておりますが、今回は特例として、今年の6月16日(日)に市と県の合同で開催される学術研修会で講師をして頂く始良地区の有村孝香先生の治療院を取材させていただき、今回の訪問記を作成しました。

取材日：2024年(令和6年)1月19日(金)

住所：〒899-4501 霧島市福山町福山 5410-28 TEL 0995-56-3090
はり・きゅう・マッサージ 有村治療院 有村 孝香(コウカ)先生

有村治療院は、県立福山高等学校正門近くに位置し、閑静な住宅地の中に有ります。



先生は、1960年(昭和35年)5月に現在お住まいの福山町に、農畜産業を

営まれていたご両親の元に、兄2人姉3人の6人兄妹の元気な末っ子として誕生されました。現在63歳でいらっしゃいます。視覚障害児として誕生されたので、小学1年生までは、近くの公立小学校に通われていましたが、2年生より県立鹿児島盲学校に転校されました。それ以降、小学部、中学部、高等普通科へと進学し、その後さらに3年間の専攻科理療科へと進学され、ここで鍼・灸・あん摩マッサージ指圧等の勉強をされて、試験を受けて卒業と同時にそれらの資格を取得されました。

盲学校を、1982年(昭和57年)3月に卒業後、4月より現在の我々の県の師会にも入会され会員とされました。そして同月より現

在の霧島市横川町に有った、[はり専門小原治療院]に就職され、ここで4年間修行されました。ここでの営業は、通常朝8時より夕方の6時までとなっていました。患者さんが日に30人前後来院されるので、夜遅くなる事も多く、日曜日の休みもほぼ無かったそうです。そして仕事を終えた後に、毎日1時間交替で2時間、小原静夫先生と有村先生でお互いに鍼を刺し合いして、小原先生より特訓を受けられたそうです。この時の体験が現在の有村先生が治療を行う上での大きな礎の一つになっているものと思われま。毎日の忙しい治療を行う中で小原先生は、有村先生に早く一人前の治療家になって自分を補助して欲しい思いも有ったと思いますが、自分の技術を有村先生に伝えて有村先生を立派な治療家に育てたい気持ちも大きかったのではと思います。小原静夫先生は弱視でいらっしやいましたが、勉強熱心で、日本東洋医学会にも所属されていて、そこで研究発表等もされていたようです。先生のお子様の内、2人の方も視覚障害児で、1人は以前盲学校の教員もされており、現在は2人共に県内で、はり専門の治療院を開業されているようです。



先生は4年間勤められた [はり専門小原治療院] を1986年(昭和61年)3月に辞められました。その時までには現在の土地は購入されていましたが、そこに建てられたお住まいと治療院の新築の

家の完成を待って、同年8月よりここで開業されて現在に至っています。車が7~8台は留められそうな広い駐車場が有り、広い玄関とゆったりとした待合室が有ります。治療室もゆったりと広く、高さの高いベッドと低いベッドの二つが有り、ホットパックの器具なども完備されております。上の棚には、これまで書き記されて来たと思われるファイルがぎっしりと並べられていました。

治療の対象者は、生後2ヶ月の小児からお年寄りまで、そして治療の対象も患者数の多い肩凝りや腰痛などから婦人病、そして様々な精神疾患に至るまでと幅広い治療を精力的にやられています。とにかく手抜きをしない、ベストを尽くす、とことんまで患者さんに寄り添った治療を心がけているとの事でした。それで同業者の方も多く治療に来られているそうです。[はり専門小原治療院]での修行時代に4人の自律神経失調症の患者さんを治療されていたそうですが、その中の1人が自殺されて亡くなってしまったそうです。とても快方に向かっていたと自分でも思っていた患者さんだっただけに、とても大きな衝撃を受けられたそうです。こんな治療をやっている、これから自分はこの仕事を続けて良いものか、とても苦しい日々を過ごされていた時に、九州大学初代診療内科の教授である池見酉（ゆう）次郎先生の著書を目にして、【これだ】と自分が思い悩んで来た解決策がここに有ると直感して、九州大学の医学部に電話したところ、その時池見先生は名誉教授となり大学を退官されていましたが、その時に先生が主催されていた研究会の連絡先を教えてくださいました。そこで自分の事情を話したところ、現職の大学の教員や医師、関係する医療従事者達が集まる勉強会に加えてもらう事が出来ました。その後は、月1回の福岡でのこの勉強会に何年も通われて勉強され、自分でもその会で研究発表をされる事も有ったそうです。その様な経緯も有り、現在も精神疾患を抱えられた患者さんも多く来院されているそうです。先生は、待つ受け身の勉強では

無く、そこに無かったら積極的に自分で取りに行く勉強を旨とされています。スポーツトレーナーの資格なども3年間をかけて資格を取られたそうです。

先生は、これまで県や鹿児島市を含む各地域の師会に於いて、様々な会合や各種ボランティア活動にも積極的に参加されて来ています。そして九州ブロックの役員や全国の役員も歴任されて来ました。その中で先生が我々の業界に特筆すべき影響をもたらされた事が有ります。それは廃鍼に付いての事です。以前廃鍼は全国的にそれぞれのやり方で処理されていたようですが、現在は医療廃棄物として処理するようになっていました。これは、先生が九州ブロックの役員や、全国の役員をされていた時に、先生の呼びかけでこの様な方針に決定して行ったと云う事でした。現在、総会や研修会などの時に、廃鍼を集めて処理する例も先生達の発案によるものだそうです。

【診療時間】月～土：朝9時～夜8時（受付）

〈休診〉日曜日、（お盆）8月13・14・15日、（正月）1月1・2・3日

【治療時間】1時間前後

診て ⇨ 証をたて ⇨ 治療を行う（鍼・灸・あん摩マッサージ指圧）

*先生は、ご自分の車を所有されていますが、運転は事務員の方がされます。

コロナ禍では、来院される患者さんの数が大部減ったそうですが、現在では鹿児島市内などの遠くからも来院されるなど、コロナ禍以前よりは数が増えているそうです。先生いわく、治療費を値上げしている治療院が多くなっているからではないかとの事でしたが、私は、ちゃんと自分達に向き合ってくれる治療家を求める患者さん達が増えたのだと思います。先生は、今後も変わりなく患者さん一人一人に寄り添って手を抜かず、最善の治療を目指してやって行きたいとおっしゃっていました。

また先生は、8月9日が鍼灸マッサージの日ということで、これまで地元の人達を集めて、有村治療院杯ゲートボール大会なる催しを毎年開催されて来ました。今年開催出来れば第10回目を迎える事になるそうです。様々な景品が出されたりすることも有り、毎回大盛況となり皆さんに喜んで頂けるそうです。この様な所にも先生のバイタリティやお人柄が表れている様に思います。

先生にご趣味をお伺いしたところ、仕事が趣味みたいなものだという答えでした。現在県の師会会員には、28名の障害者の方達がおられ、その方達とも連絡を密にして、会を盛り上げて行きたいとおっしゃっていました。先生の現在の希望としては、会員相互がその時々の疾患に対してなど、お互いに技術の交流を深め、高めあえる場がもっと有ったら良いのではとの事でした。





発行所 (一社) 鹿児島市鍼灸マッサージ師会 情宣部
(公社) 鹿児島県鍼灸マッサージ師会館内
〒 890-0015 鹿児島市草牟田町8-4